

デジタルビデオレコーダー

クイックガイド

HRX-1621/HRX-1620
HRX-821/HRX-820
HRX-421/HRX-420

特徴

本製品は、カメラの映像及び音声をハードディスクに録画&再生することができます。
また、ネットワークを利用して映像及び音声を遠隔地からPCを通じてモニタリングする環境を提供します。

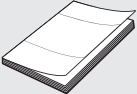
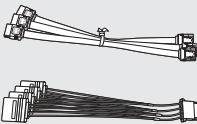
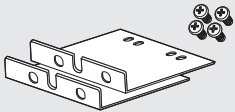
- 使いやすいユーザーインターフェース
- 4K解像度のアナログ、ネットワークカメラに対応
- HDMIを使用し4K HD画像を出力
- 映像の録画、再生
- 音声の録音、再生
- ONVIF Profile S規格およびRTP / RTSPプロトコルのサポート
- HDD SMART機能を利用したHDD情報及び状態表示
- Dual Stream録画機能
- HDD上書き機能及び録画期間の設定が可能
- USB 2.0、3.0メモリ-及び外付けHDDを利用したバックアップが可能 (最大2TB)
- 6、10、18チャンネル同時再生
- 各種検索モード（時刻、イベント、スマート、テキスト、バックアップ、ARB）
- ARB対応(ネットワークカメラ)
- 各種録画モード（ノーマル、イベント、スケジュール録画）
- アラーム入力 / 出力機能
- UWA3.0を利用したリモートモニタリング機能提供
- インストールウィザード機能
- P2Pサポートにより、スマートフォンでのリモートモニタリング機能をサポート
- スマートフォンでイベントアラームを利用可能（リアルタイムのイベントメッセージを送信）

パッケージ内容

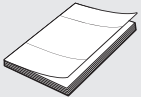
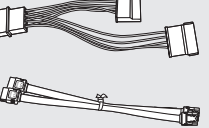
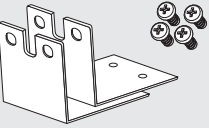
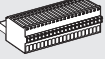
製品の梱包を解いて平らな場所または設置場所に置いてください。
本体以外に、以下の付属品がパッケージに梱包されていることを確認してください。

- 写真はイメージであり、実物と異なる場合がございます。
- 付属品の種類と数量は、販売地域によって異なる場合があります。
- 一部地域の場合、HDDは事前設置されていないことがあります。HDD装着用ネジ、SATAケーブルの数はHDD固定数によって異なる場合があります。

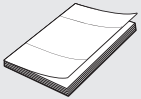
HRX-1621/HRX-821

			
ストレージデバイス	マウス	クイックガイド	電源ケーブル
			
SATAケーブル (HRX-1621: 8 個、 HRX-821: 4 個)	HDD固定ねじ (HRX-1621: 32 個、 HRX-821: 16 個)	ブラケットラック (2 EA)/ ネジ(4個)	端子台 (HRX-1621: 15ピン、20 ピン、 HRX-821: 12ピン、15 ピン)
			
リモートコントローラー / リモコンの電池（単4×2）			

HRX-1620/HRX-820/HRX-421

			
ストレージデバイス	マウス	クイックガイド	電源ケーブル
			
電源アダプタ	SATAケーブル (2 個)	HDD固定ねじ (8 個)	ブラケットラック (2 個)/ ネジ(4個)
			
端子台 (20ピン) (HRX-421のみ提供)	リモートコントローラー/ リモコンの電池 (単4×2)		

HRX-420

			
ストレージデバイス	マウス	クイックガイド	電源ケーブル
			
電源アダプタ	SATAケーブル (1 個)	HDD固定ねじ (4 個)	リモートコントローラー/ リモコンの電池 (単4×2)

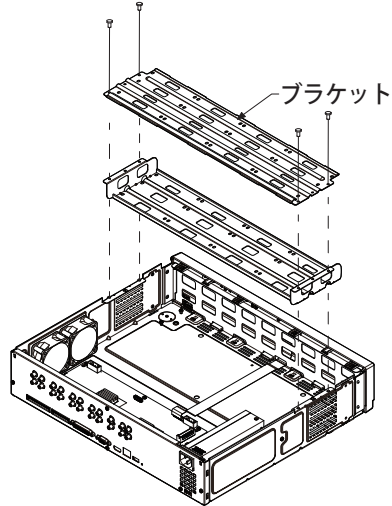
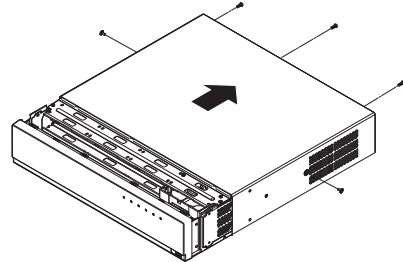
HDD搭載

- ❗ 初期インストールの他に新しく追加された新規HDDや他の製品で使用していたHDDを本製品に搭載する場合、レコーダーで手動にフォーマットして使用してください。フォーマット方法は、レコーダー説明書で「デバイス確認/フォーマット」をご参照ください。

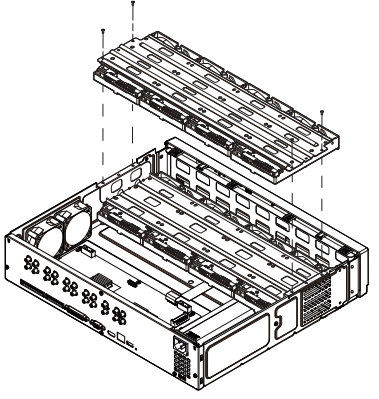
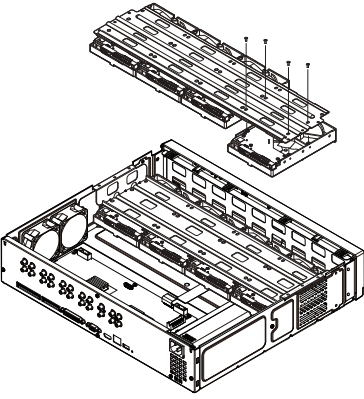
HRX-1621/HRX-821

- ☑ 次の画像はHRX-1621モデル基準です。

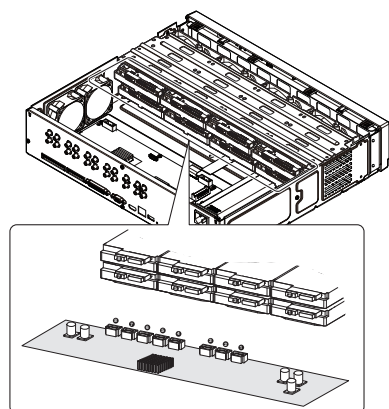
- 1 左/右側面と後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。
- 2 左/右側のネジを外してブラケットを分離してください。



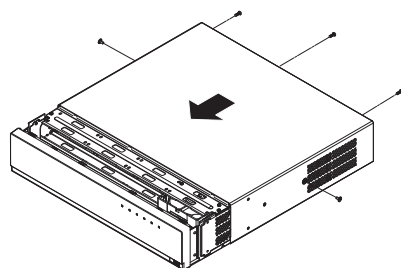
- 3 ブラケットにHDD 8個を搭載した後、ネジで固定してください。
- 4 HDDが搭載されたブラケットをネジでレコーダーに固定してください。
- HRX-821モデルは、下側のブラケットにだけHDDを搭載してください。



- 5** HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。
- HDDの位置番号とコネクタ番号は、下記の画像をご参照ください。



- 6** レコーダー内部の接続ポートと配線に問題ないか確認した後、カバーを閉じてネジで固定してください。

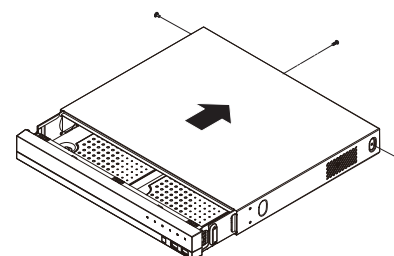


HRX-1620/HRX-820/HRX-421

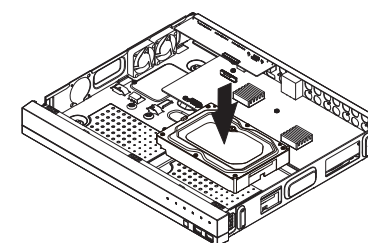


- 次の画像はHRX-1620モデル基準です。

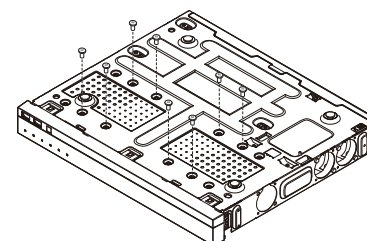
- 1** 左/右側面と後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。



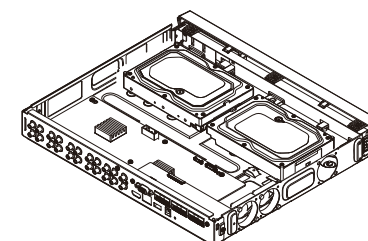
- 2** HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。



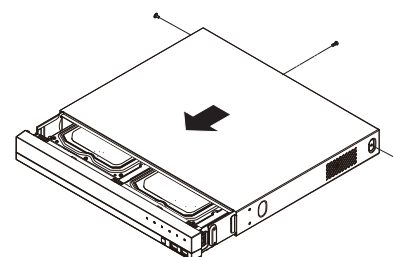
- 3** ネジでHDDをレコーダー下面に固定してください。



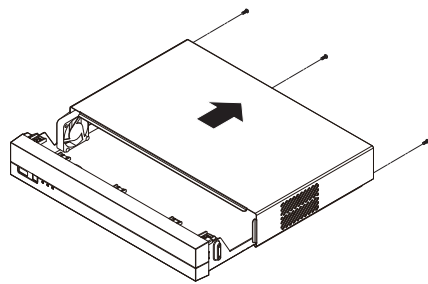
- 4** 製品内部の接続ポートと配線に問題ないかを確認してください。



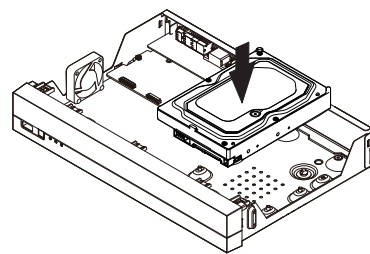
- 5** カバーを閉じてネジで固定してください。



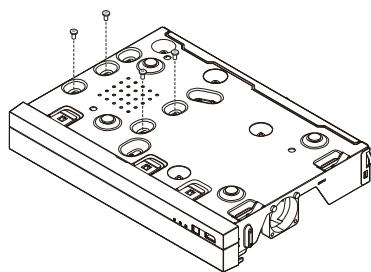
- 1 左/右側面と後面のネジを外してカバーを後ろに押しながら、分離してください。



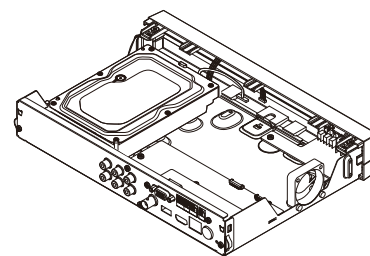
- 2 HDDのSATA/電源ケーブルをメインボードのコネクタに接続してください。



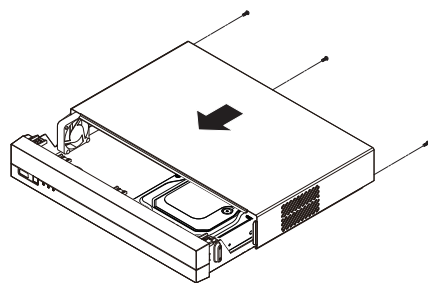
- 3 ネジでHDDをレコーダー下面に固定してください。



- 4 製品内部の接続ポートと配線に問題ないかを確認してください。



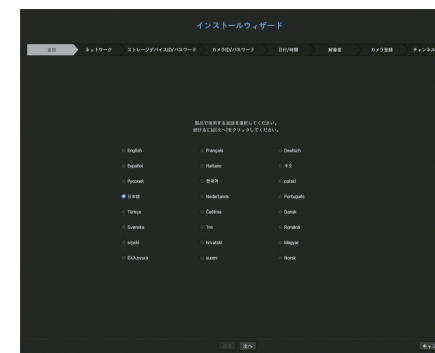
- 5 カバーを閉じてネジで固定してください。



インストールウィザード設定

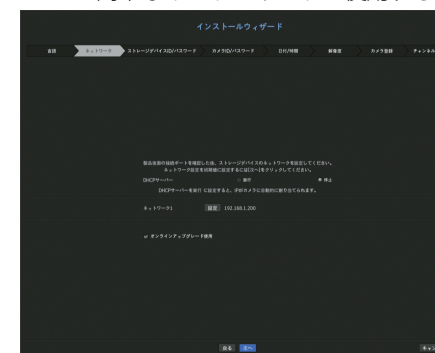
1 言語設定

言語を選択してください。



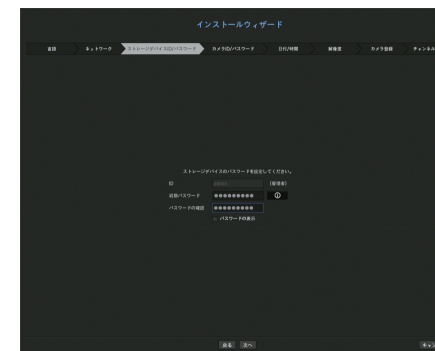
2 ネットワーク設定

- DHCPサーバー：DHCPサーバーを実行に設定すると、カメラに自動でIPが割り当てられます。
 - ネットワーク1(全体)：ネットワークカメラ&外部クライアント接続のためのポートです。
- ※ 詳細ネットワーク設定情報は、製品取扱説明書をご参照ください。
- ▶ 簡単なイントラネットを使用するには、<次へ>ボタンをクリックしてください。



3 ストレージデバイスID/パスワード設定

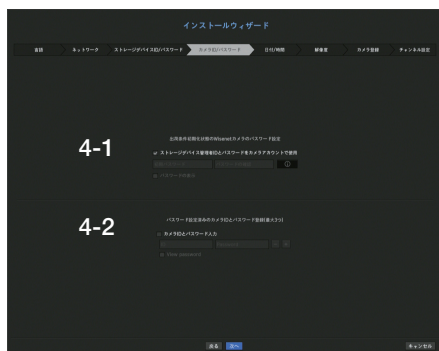
管理者のパスワードを設定します。



※ <①>をクリックすると、パスワード設定のための基本ガイドが表示されます。パスワード設定ルールを確認してください。

4 カメラID&パスワード設定

- 出荷条件初期化状態のカメラのパスワードを設定してください。カメラの初期パスワードは必須入力情報です。
- カメラにID/パスワードがすでに設定された場合、該当ID/パスワードを登録した後、<次へ>ボタンをクリックしてください。

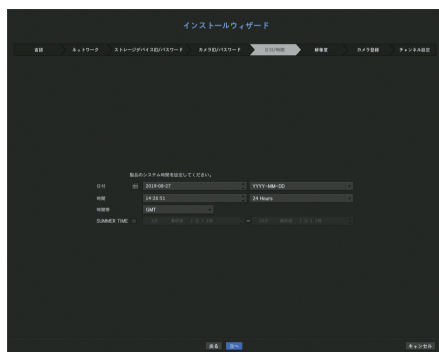


※ <①>をクリックすると、パスワード設定のための基本ガイドが表示されます。パスワード設定ルールを確認してください。

- ※ パスワードが出荷条件初期化状態の場合は一括変更して管理することができます。
- ※ パスワードが設定されたカメラIDやパスワードの登録は最大3セットまで可能です。
- ※ ONVIF&RTSPに登録済みのカメラパスワードは変更できません。

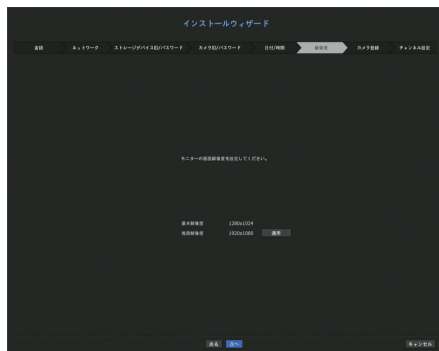
5 日付/時間設定

日付、時間、標準時間帯、DSTを設定した後、<次へ>ボタンをクリックしてください。



6 解像度設定

推奨解像度に設定するには、<適用>をクリックした後、<次へ>ボタンをクリックしてください。



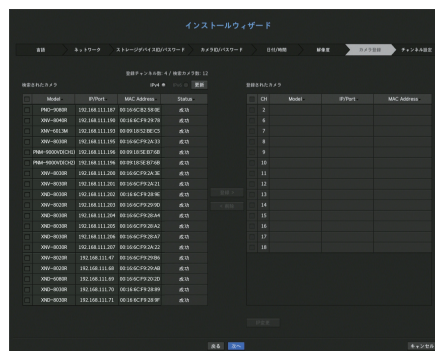
7 カメラ登録

検索されたネットワークカメラを登録します。

検索されたカメラリストで登録するカメラを選択した後、<登録>ボタンをクリックしてください。

登録するカメラをリストで選択した後、<IP変更>ボタンをクリックしてください。

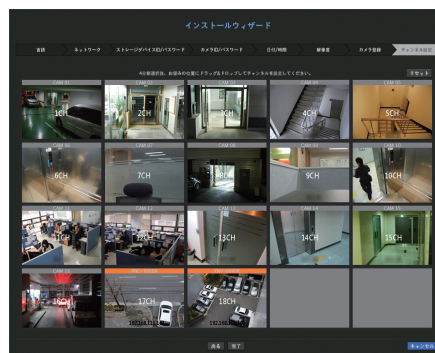
カメラ登録を完了した後、<次へ>ボタンをクリックしてください。



8 チャンネル設定

各チャンネルに登録済みのカメラ映像をサムネイル情報と一緒に分割モードで確認することができます。

カメラ映像の位置を変更するには映像を選択した後、お望みの位置にドラッグ&ドロップしてください。



インストールウィザードを完了するには、<完了>ボタンをクリックしてください。

録画設定

チャンネル別にイベント発生時及び標準録画時の解像度・録画フレームを設定できます。
各チャンネルのフルフレーム及びキーフレーム録画のフレーム数及びデータ転送量を確認し、録画の制限するデータ量を設定できます。

メニュー > 録画 > 録画設定



- CH: < CH > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
 - 他のチャンネルに適用する: <他のチャンネルに適用する>を選択した場合、"他のチャンネルに適用する"確認ウィンドウが表示されます。
設定を適用するチャンネルを選択した後、<OK>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
 - 標準、イベント: 標準レコーディングとイベントレコーディングを設定します。
 - フル: カメラから伝送されるすべてのフレームを録画します。
 - 1フレーム: カメラから伝送されるキーフレームだけを録画します。
実際の録画はカメラの設定により異なる場合があります。一般的に、1秒あたり1~2フレームが録画されます。
 - オフ: 録画しない。
 - フレーム
 - フル: フルフレームのデータ総量が表示されます。
 - フレーム: キーフレームのデータ総量が表示されます。
 - 制限: 各チャンネルのカメラから受信可能なデータ量を設定します。
 - イベント: イベントが発生したとき、どのポイントで録画を開始又は停止するかを設定できます。
 - 前: イベントが発生したとき、設定した時刻の前から録画が開始されます。
5秒に設定した場合、録画はイベントが発生する5秒前に開始されます。
 - 後: イベントが発生したとき、設定した時刻の後まで録画が継続されます。
5秒に設定した場合、録画はイベントが終わった後さらに5秒間継続されます。
 - オーディオ: カメラから受信した音声録音するかを選択します。
- チャンネルのデータ転送が設定上許可された制限を超過した場合、他のチャンネルに影響がでる場合があります、チャンネルが<フル>録画モードに設定されているときであっても、<1フレーム>録画へ強制的に切り替わる場合があります。キーフレーム録画チャンネルの場合、制限つき録画のアイコンがライブ画面の上部に表示されます。ただし、制限値の合計が、最大値よりも下の場合、各チャンネル用に許可するビットレートを超過しているかどうかに関係なく、フレーム全体を受信することができます。
- 黄色く表示されるチャンネルは、カメラの録画データが入力されない場合に臨時録画のためカメラの他のプロファイルと交換して録画する場合を表しています。
黄色で表示されたチャンネルの情報をみると現在適用中のプロファイルを確認できます。
オレンジ色で表示されるチャンネルは、カメラの入力データの量が制限データ量より多い場合です。この場合、入力される全フレームを保存することができず、キーフレーム(1秒に1枚または2枚)のみ録画が可能となります。制限データ量を入力されるデータ量より大きく設定する必要があります。

レイアウト設定&実行

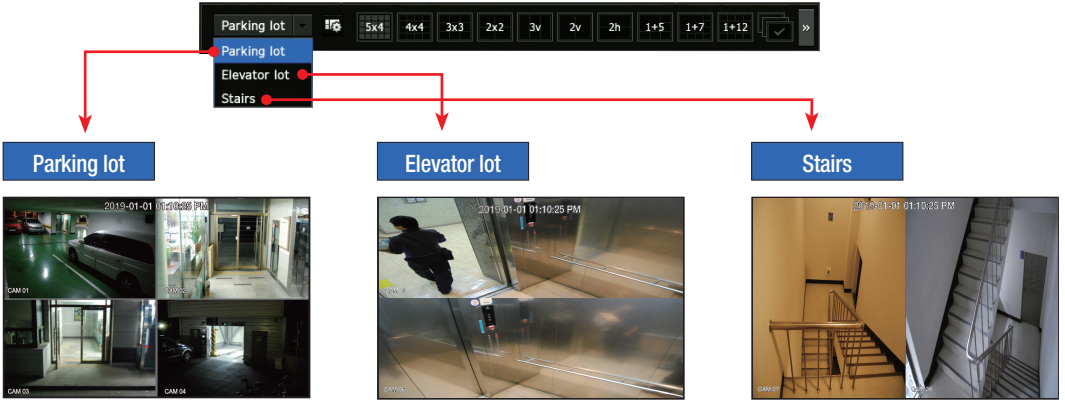
ライブ画面で設定したレイアウトを時間検索でも同じく使用してユーザーが設定したチャンネル手順とチャンネル組み合わせで検索して再生できます。

- 各段階の詳細設定方法は、「製品取扱説明書」ご参照ください。

1 ライブチャンネルのレイアウト設定



- 1 チャンネルのレイアウト設定ページオープン
- 2 <新規>クリック
- 3 選択したチャンネルのレイアウト名を決める。(例 - Parking lot)
- 4 レイアウトに追加するチャンネルを選択(例 - 1、2、3、4など)
- 5 適用する分割モードを決める。(例 - 4分割)
- 6 <OK>クリック
- 7 移動するレイアウトを選択すると、すぐ移動する。(例 - Parking lotへ移動する。)

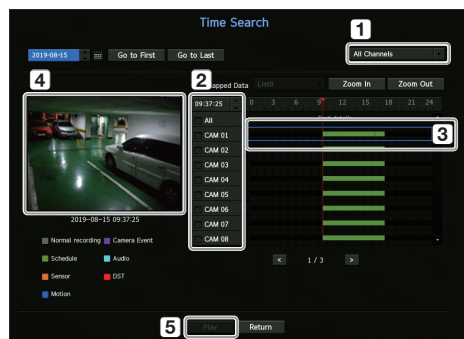


2 検索/再生



- 1 ライブモードでマウス右側ボタンをクリックして<検索>を選択してください。
<時間検索>を選択してください。

2-1 検索



- ① 初期値は、<全チャンネル>であり、ライブで作成したチャンネルグループの中でレイアウトを選択してください。
- ② 選択したグループ別のチャンネルを選択してください。
- ③ タイムバーを動かすと、④の画像でプレビュー画面を確認できます。
- ⑤ <再生>ボタンを押すと、再生に移動します。

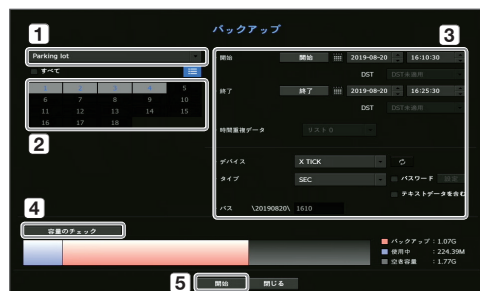
2-2 再生



- ① 再生する時に必要な様々な機能であり、マウスオーバーするとツールチップが表示されます。該当の内容を参照して再生制御を調整してください。
(例: スキップ巻戻し)
- ② 再生設定で①の特定機能を設定できます。
例) スキップ再生: 10分、30分、1時間、24時間など
- ③ 分割モード&その他を再生する場合、動作する機能を表示します。

3 バックアップ

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<バックアップ>を選択してください。

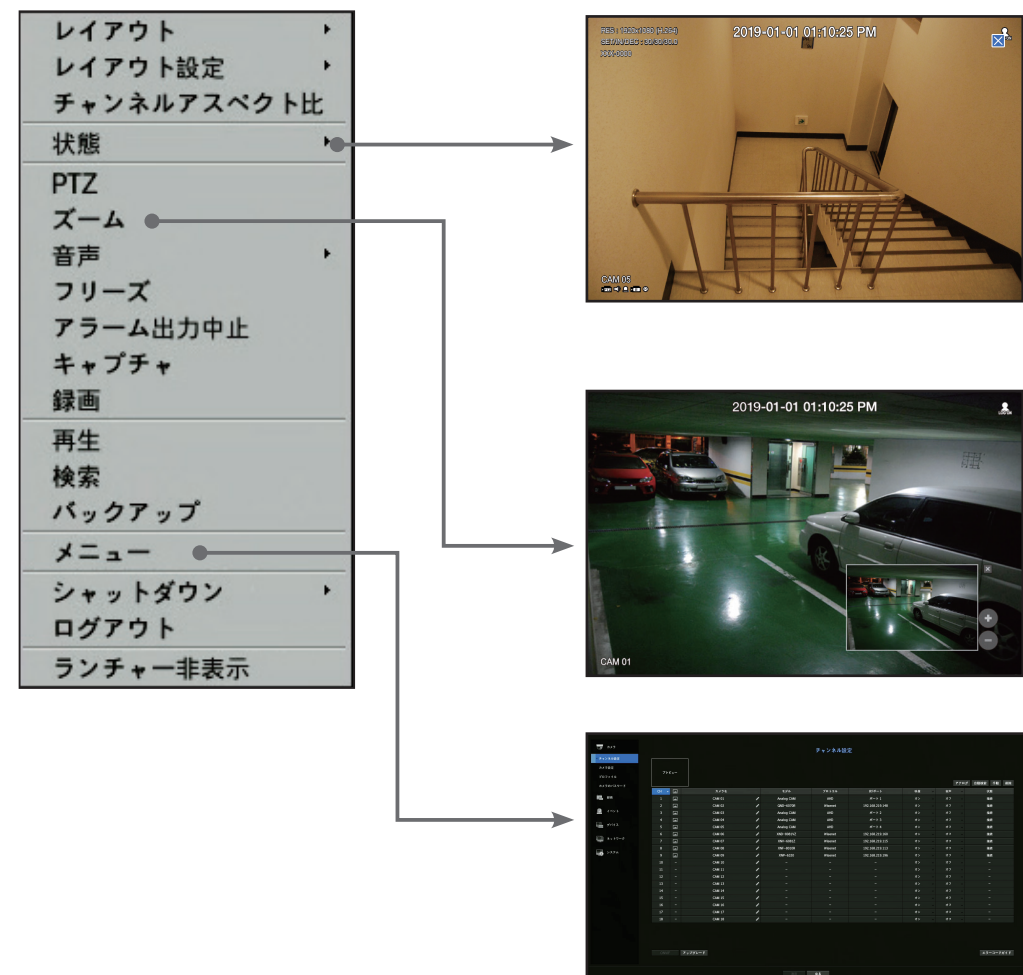


- ① レイアウトを選択してください。
- ② チャンネルを選択してください。
- ③ バックアップする時間、デバイス、タイプを設定してください。
- ④ <容量のチェック>ボタンをクリックして、バックアップ可能有無を確認してください。
- ⑤ <開始>ボタンをクリックしてバックアップを進行してください。

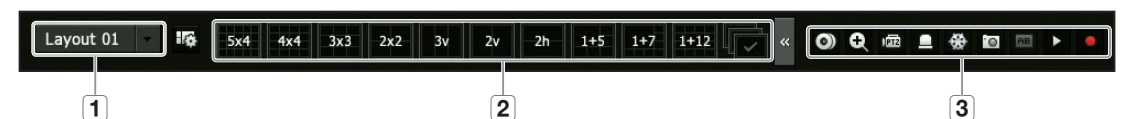
基本ガイドを活用する

ショートカットメニュービュー

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックすると、レコーダーで提供する様々な機能を使用できます。アイコンにマウスオーバーすると、各機能別の用語定義が簡略に表示されます。



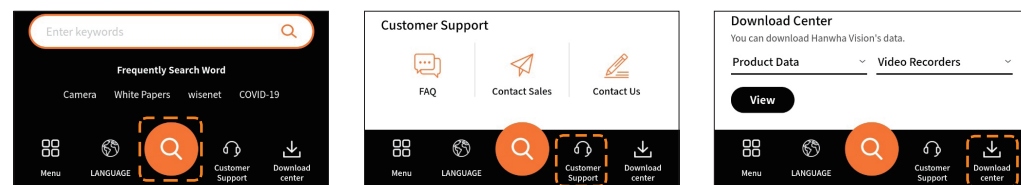
ライブランチャー



- ① ライブレイアウトを設定することができます。
- ② 対応する分割モードを設定することができます。端のシーケンス()は、各分割モード別に特定時間の間、順番に見ることができます。
- ③ ライブでアラーム制御、オーディオなどの付加機能を設定することができます。

製品Infoを活用する

ウェブサイトやスマートフォンのモバイルウェブで製品Info/マニュアル/ファームウェア情報/FAQ/HDD互換性リストなどを確認できます。

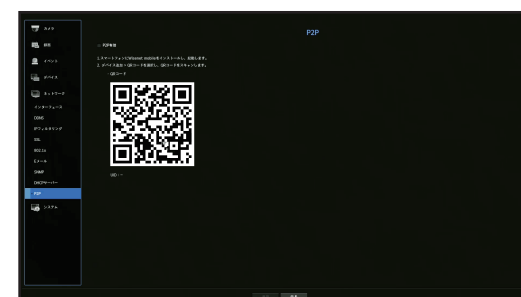


P2Pサービスを活用する

P2P機能に対応する製品にのみ提供する機能です。P2P機能に対応する製品はWisenetレコーダー説明書で「機能別対応する製品」をご参照ください。

P2Pサービスを使用する場合、すぐにレコーダーをモバイルウェブビューアーで接続して使用することができます。

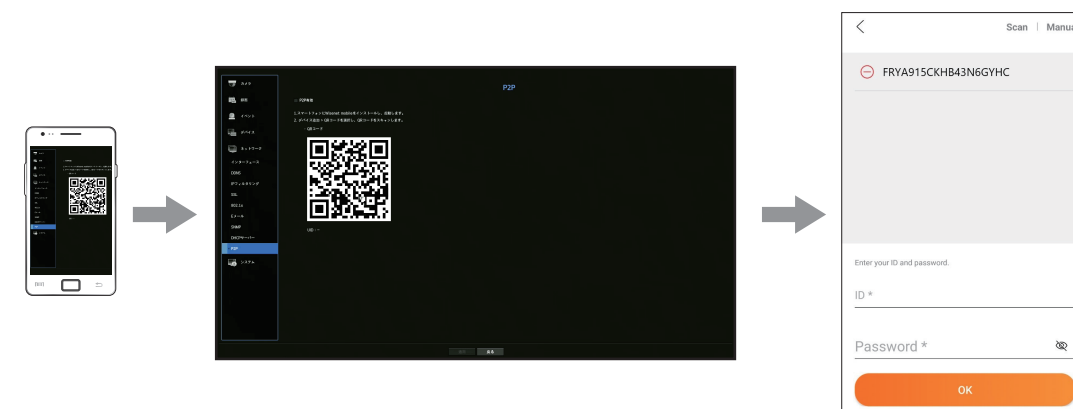
① <P2P有効>をチェックすると、現在該当レコーダーでリモート接続できるかアクセステストを行います。



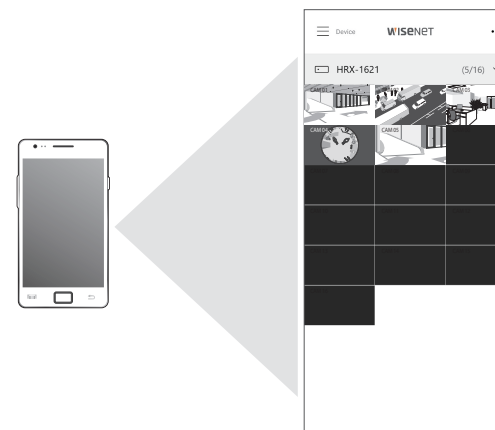
② アクセスに成功すると、スマートフォンにWisenet mobileを検索してインストール&実行してください。

■ デバイス追加 > QRコードを選択すると、レコーダーのQRコードをスキャンすることができます。

③ QRコードをスキャンすると、レコーダーに表示されるデバイスIDがモバイルビューアーIDに自動反映され、レコーダーのID/パスワードを入力すると、すぐにモバイルビューアーを使用することができます。



④ その後はスマートフォンに保存したWisenetモバイルアプリを実行すると、レコーダーに自動アクセスされ、スマートフォンで簡単にモニタリングすることができます。



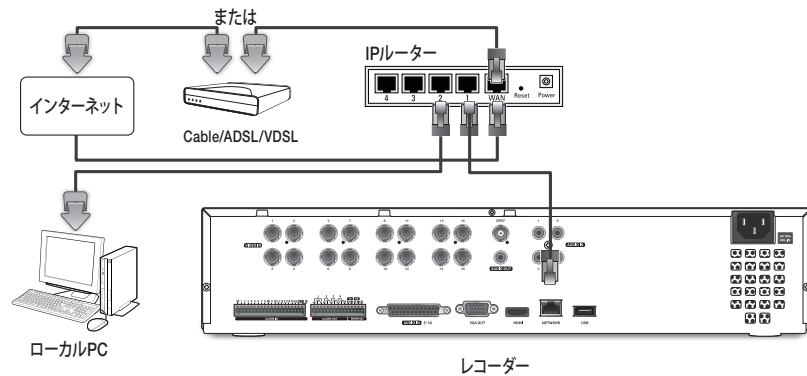
■ モーション、ビデオロスイベントのみイベントプッシュで伝達されます。

ルーターを用いてネットワーク接続

xDSL/Cable Modemを使用する環境でPCとレコーダー1～3台を追加して使用する場合、1つのインターネットラインだけでルーターを用いて使用できます。

本ガイドは、ネットワーク非専門家のためのインストールガイドです。
説明に従ってルーター、ローカルPC、レコーダーを設定してください。

ケーブル接続



PCとルーター接続



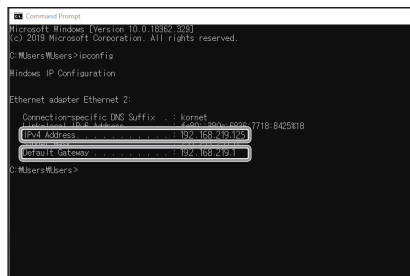
- ルーターの取扱説明書をご参照ください。

レコーダーとルーター接続

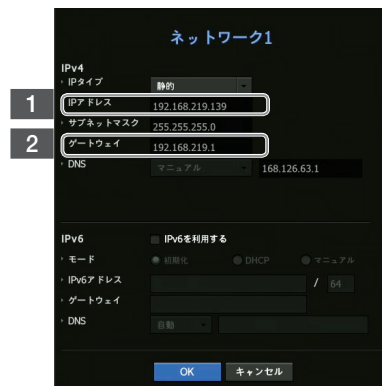
レコーダーの<ネットワーク>設定メニューの<インターフェース>に移動した後、
<設定>項目で **1** <IPアドレス>と **2** <ゲートウェイ>を設定。

※ ローカルPCの[cmd.exe]で確認した<デフォルトゲートウェイ>とレコーダーの<ゲートウェイ>を同じく設定する必要があります。

※ レコーダーの<IPアドレス>は、ローカルPCの[cmd.exe]で確認した<デフォルトゲートウェイ>と3番目の番号まで同じく設定する必要があります。



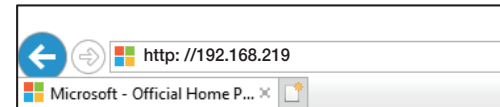
<cmd.画面>



<レコーダー画面の例>

PCでレコーダー接続確認

ローカルPCのアドレスバーにレコーダーメニューで設定したIPを入力すると、レコーダーのウェブビューアー画面が表示されます。



システム要件

下記は、ウェブビューアーが動作するのに必要な最低限推奨されるハードウェアとOSの要件です。

- 推奨ブラウザ：Chrome
- 対応ブラウザ：Chrome、Edge、Safari
- 対応OS：Platform独立的なウェブの特性上Windows、Linux、OS X環境ですべて動作できます。
- 検証環境：Windows® 10のGoogle Chrome™/バージョン76、NVIDIA® GeForce® GTX™ 1050が含まれたIntel® Core™ i7-7700プロセッサー3.60GhzまたはIntel™ HD Graphics 630でテスト及び検証されました。
- 性能制約事項：ウェブビューアーの映像再生性能は、ユーザーのCPU/GPU性能に影響されることがあります。

ルーターとインターネットの接続設定

各ルーターによって、インターネットの接続設定方法がことなるため、各ルーターによる設定方法をご確認ください。

ルーターでポートフォワーディング設定

外部からルーターのローカルLANが接続されたPCやレコーダーにアクセスするためには、ルーターのポートフォワーディングを設定してください。

レコーダーでは、<RTSPポート>、<HTTP>、<HTTPS>、CAMプロキシポートを使用します。使用するすべてのポートのポートフォワーディングを設定する必要があります。

※ <HTTPポート>だけポートフォワーディングを設定した場合、映像転送ポートである<RTSPポート>がポートフォワーディングされなかったため、アクセスは可能でも映像は表示されません。

※ <RTSPポート>だけポートフォワーディングを設定した場合、ウェブアクセスポートである<HTTPポート>がポートフォワーディングされなかったため、アクセスできません。

※ ルーターの取扱説明書をご参照ください。

動的IP環境でDDNSアドレスを用いてアクセス

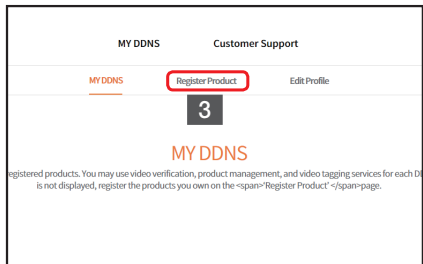
xDSL/Cableモデムと同じ動的IP環境では、ルーターのWAN IPが変更される場合があるため、当社はDDNS(Dynamic Domain Name Server)サービスを提供して動的IP環境からでも、常にDDNSアドレスだけでレコーダーにアクセスできるようにしています。

• Wisenet DDNS設定

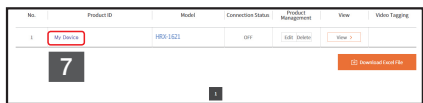
レコーダーをリモートでアクセスすることになるため、先にPCを用いてWisenet DDNSのアカウントを設定してください。



3 <Register Product>タブをクリックして、ユーザーアカウントにレコーダーを追加。



7 登録が終わったら、リストに製品が表示されます。



ブラウザを開いてddns.hanwha-security.comにアクセスした後、<Login>をクリック。

1 <Sign Up>をクリックウェブサイトのアカウント登録指示に従ってください。

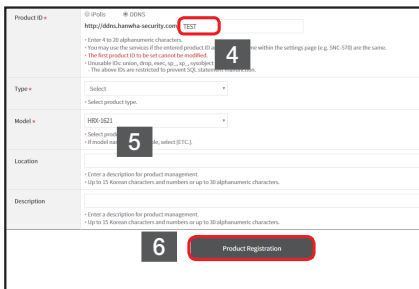
2 アカウント登録を完了した後、ログイン。



4 レコーダーに対する名称(製品ID)を作成。

5 レコーダーの区分、モデル名を選択。

6 <Product Registration>をクリック。



• DDNSアドレスを用いてアクセスする

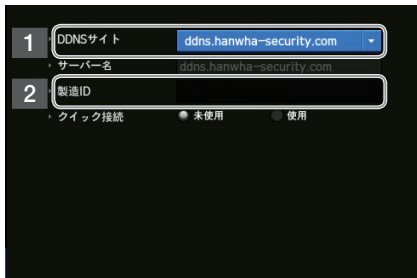
レコーダーの<ネットワーク>設定メニューの<DDNS>に移動。

1 <ddns.hanwha-security.com>を選択。

2 <製造ID>を入力。

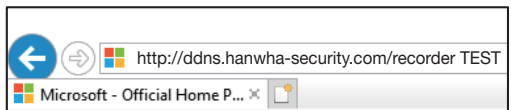
- <製造ID>にWisenet DDNSウェブサイトで作成した<製品ID>を入力してください。

3 DDNS設定完了後、<OK>を選択。

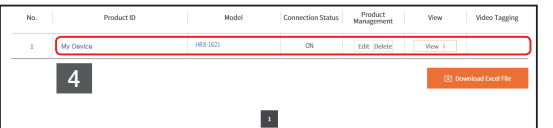


<レコーダー画面の例>

5 インターネット・エクスプローラーのアドレスバーにレコーダーで設定した<DDNSホスト名>である<http://ddns.hanwha-security.com/recorder TEST>にアクセスすると、レコーダーに接続できます。または、4番項目の<View>をクリックすると、レコーダーに接続できます。

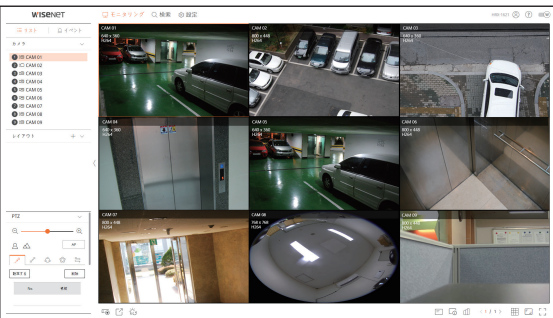


4 <ddns.hanwha-security.com>にアクセスして、登録した製品の接続状況が<ON>になっているかを確認。



<Wisenet DDNSの設定画面>

6 レコーダーのウェブビューアーの画面が表示されます。



すべての設定が完了されました。

DDNSアドレスとID/パスワードを覚えてください。そうすると、インターネットに接続されたすべてのPCでレコーダーにアクセスできます。

以後の使用法は、取扱説明書をご参照ください。



Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

